

一般社団法人日本義肢装具士協会

平成 29 年度 定期総会

審議事項

第 1 号議案	平成 28 年度事業報告、決算報告および監査報告の承認の件	
1)	平成 28 年度事業報告	1 頁
2)	平成 28 年度決算報告	11 頁
3)	平成 28 年度監査報告	14 頁
第 2 号議案	平成 29 年度主な事業計画および収支予算案の承認の件	
1)	平成 29 年度事業計画	15 頁
2)	平成 29 年度収支予算	21 頁
第 3 号議案	任期満了に伴う役員改選(案)の承認の件	24 頁
第 4 号議案	公益法人移行後の定款変更(案)の承認の件	25 頁
第 5 号議案	現行の定款変更(案)の承認の件	25 頁
第 6 号議案	役員の報酬等及び費用に関する規程(案)の承認の件	25 頁
第 7 号議案	会費規程(案)の承認の件	26 頁



平成 29 年 7 月 22 日(土) 12:40 ~ 14:00

福岡国際会議場 (福岡県福岡市博多区石城町 2-1)

第1号議案： 平成28年度事業報告・決算報告及び監査報告の承認の件

1) 平成28年度 事業報告

① 理事会

第1回理事会 平成28年6月12日(日) 文京シビックセンター (東京・文京区)

[理事]石原、出井、植田、宇野、大塚、甲斐、北川、黒田、見木、小嶋、小西、坂井、佐熊、
笹本、佐野、鈴木、砂田、関川、高橋、中川、中村、楡木、早川、富金原、藤本、保谷、
本田、宮川、宮本、山口

[監事] 小谷、佐々木、松本

[事務局長] 岡崎

第2回理事会 平成29年1月22日(日)晴海区民館 (東京・中央区)

[理事]石原、出井、植田、宇野、大塚、甲斐、北川、黒田、見木、小嶋、小西、坂井、佐熊、
笹本、佐野、鈴木、砂田、関川、高橋、中川、中村、楡木、早川、富金原、藤本、保谷、
本田、宮川、宮本、山口

[監事] 小谷、佐々木、松本

[事務局長] 岡崎

メール審議

- ・ 熊本地震の罹災した会員の1年分年会費の免除 2016年5月9日承認通知
- ・ 熊本地震のための支援金募集のための口座開設 2016年5月9日承認通知
- ・ 補正予算申請に関する規定および申請書式 2016年7月31日承認通知

② 会長、副会長、常任理事の職務執行状況

月 日	職 務	場 所	応対者
4月6日	ISPO 神戸大会 陳大会長と意見交換	義肢会館	坂井,大塚
4月8日	「医療福祉分野の資格の履修内容に関する調査」について意見交換(厚労省 医政局 医事課)	義肢会館	坂井
4月9日	常任理事会	テレビ会議	坂井,石原,高橋,大塚
4月10日	運動器の10年 会員連絡協議会	東京・千代田	大塚
4月17日	全国研修委員会	義肢会館	石原
4月20日	義肢協会・脇本常務との面談(熊本地震支援)	義肢会館	坂井
	日本福祉用具供給協会・常務との面談(熊本地震支援)	日本福祉用具供給協会(東京・浜松町)	坂井
	JRAT 代表者会議	東京・田町	坂井
4月23日	常任理事会	義肢会館	坂井,石原,大塚
	第1回学術大会顧問会議	義肢会館	石原,高橋,大塚
4月24日	第1回総務委員会	義肢会館	大塚
4月26日	治療用装具に関する意見交換(厚労省・義肢協会)	義肢会館	坂井,大塚

4月27日	「義肢装具士白書」関連打合せ	東京・巣鴨	坂井
	公益法人WG(岡崎事務局長)	義肢会館	大塚
5月9日	「義肢装具士白書」関連打合せ(出井委員長)	テレビ会議	坂井
5月10日	決算打ち合わせ	義肢会館	大塚
5月12日	チーム医療推進協議会総会	東京・田町	坂井,大塚
5月13日	公益法人WG(岡崎事務局長)	義肢会館	大塚
5月14日	治療用装具メーカー説明会(義肢協会主催)	東京・品川	坂井
5月18日	JRAT 代表者会議	東京・田町	坂井
5月19日	JASPA 義肢装具部会(熊本地震支援)	JASPA(東京・神谷町)	坂井
5月21日	日本義肢協会・総会	名古屋	坂井
5月22日	第1回生涯学習委員会	義肢会館	坂井
5月23日	常任理事会	テレビ会議	坂井,石原,高橋,大塚
5月28日	常任理事会	義肢会館	坂井,石原,高橋,大塚
	会計監査	〃	坂井,石原,高橋,大塚
6月5日	第1回編集委員会	テレビ会議	石原
	第1回国際委員会	東京・秋葉原	坂井
6月11日	JAWS 研修会	東京・有明	坂井,石原,高橋,大塚
6月12日	下肢救済・足病分野WG(見木理事、砂田理事、松本監事)	東京・後樂園	坂井,石原,高橋,大塚
	第1回理事会	〃	坂井,石原,高橋,大塚
6月13日	東京オリ・パラ競技大会組織委員会・仲前様との打合せ	東京・港区	坂井
	JRAT 戦略会議	東京・品川	坂井
6月18日	日本義肢協会・治療用装具委員会出席	義肢会館	坂井
6月21日	公益法人WG(米満氏、岡崎事務局長)	義肢会館	大塚
6月22日	テクノエイド協会評議員会	テクノエイド協会(東京・飯田橋)	坂井
6月29日	「義肢装具士白書」編集打合せ(アイベック)	東京・巣鴨	坂井
7月2日	PO 関連三団体協議会	東京・品川	坂井,石原,高橋,大塚
7月3日	治療用装具に関してJOPAとの打合せ	東京・品川	坂井,石原,高橋,大塚
7月6日	JASPAとの意見交換	東京・品川	坂井
7月11日	義肢協会・関東支部との合同セミナー打合せ	義肢会館	坂井
7月15日	常任理事会	神戸国際会議場	坂井,石原,高橋,大塚
	第1回協会向上委員会	〃	坂井,石原,高橋,大塚
	第2回編集委員会	〃	石原
	第2回生涯学習委員会	〃	坂井
	第2回国際委員会	〃	坂井
7月16日	第2回倫理・会則検討委員会	〃	高橋
	平成28年度定期総会	神戸国際会議場	坂井,石原,高橋,大塚
	下肢救済・足病分野WG	〃	坂井,石原,高橋,大塚

7月17日	支部長会	神戸国際会議場	坂井,石原,高橋,大塚
7月27日	PO 賠償保険について(三井生命担当者と面会)	義肢会館	大塚
7月29日	JRAT 戦略会議	東京・品川	坂井
8月8日	福祉用具供給に関する意見交換会	テクノエイド協会(東京・飯田橋)	坂井
8月19日	公益法人 WG(米満氏、岡崎事務局長)	義肢会館	大塚
8月24日	PO 賠償保険について(三井生命担当者と面会)	義肢会館	大塚
8月27日	第2回学術大会顧問会議	義肢会館	坂井,石原,高橋,大塚
	PO 関連三団体協議会	〃	坂井,石原,高橋,大塚
8月28日	治療用装具に関して JOPA との打合せ	義肢会館	坂井,石原,高橋,大塚
9月7日	公益法人 WG(岡崎事務局長)	義肢会館	大塚
9月9日	義肢装具士白書関連打合せ	テクノエイド協会(東京・飯田橋)	坂井
9月13日	義肢協会・関東支部との合同セミナー打合せ	下北沢病院	坂井
9月21日	『義肢装具士になるには』取材	義肢会館	坂井
9月22日	第2回研修委員会	義肢会館	石原
9月23日	香港 ISPO・香港義肢装具士協会学会参加	香港・九龍	坂井
9月25日	日本作業療法士協会 50周年式典参加	東京・新宿	坂井
9月27日	公益法人 WG(米満氏、岡崎事務局長)	義肢会館	大塚
9月30日	JRAT 戦略会議	東京・品川	坂井
10月4日	内閣府公益認定等委員会ヒアリング(米満氏、岡崎事務局長)	東京・虎ノ門	大塚
10月6日	厚労科研「医療関係職種の養成課程内容共通度」会議	東京大学	大塚
10月8日	常任理事会	テレビ会議	坂井,石原,高橋,大塚
10月9日	シーティングエンジニア試験委員会	東京・浜松町	高橋
10月10日	シーティング財団 設立祝賀会	東京・市ヶ谷	高橋
10月14日	PO 関連三団体協議会	札幌コンベンションセンター	坂井,石原,高橋,大塚
	研修委員会全国セミナー打合せ	〃	石原
10月15日	全国ポリオ会連絡会北の会・今田様との打合せ	札幌コンベンションセンター	坂井
10月18日	事務局打ち合わせ	義肢会館	大塚
10月25日	公益法人 WG(米満氏、岡崎事務局長)	義肢会館	大塚
10月28日	(一社)日本義肢協会理事会出席	義肢会館	坂井
10月30日	第2回総務委員会	義肢会館	大塚
11月3日	第3回編集委員会	テレビ会議	石原
11月5日	車椅子・シーティング戦略会議(北川理事)	テレビ会議	坂井,石原,高橋,大塚
11月7日	義肢協会・関東支部との合同セミナー打合せ	義肢会館	坂井
11月12日	ロボットリハ・ケア研究会参加	兵庫リハ	坂井,大塚

11月13日	神戸医療福祉専門学校三田校 20周年パーティー	大阪・梅田	石原
11月14日	車椅子・シーティング三団体講習会打合せ (北川理事)	東京・赤羽	高橋
	JRAT 戦略会議	東京・品川	坂井
11月15日	公益法人 WG(岡崎事務局長)	義肢会館	大塚
11月19日	東日本支部セミナー「糖尿病足部病変と装具 療法の基礎」の幹事	東京・秋葉原	坂井
11月26日	生涯学習委員長との打合せ	テレビ会議	坂井
11月27日	JAPO 西日本支部セミナー参加	神戸医療福祉専門学校三田校	坂井,石原
12月4日	第2回協会向上委員会	義肢会館	坂井,石原,大塚
	常任理事会	〃	坂井,石原,高橋,大塚
12月6日	公益法人 WG(米満氏、岡崎事務局長)	義肢会館	大塚
	チーム医療懇談会	東京・九段下	坂井,大塚
12月13日	内閣府公益認定等委員会ヒアリング(米満氏、 岡崎事務局長)	東京・虎ノ門	大塚
12月17日	第3回学術大会顧問会議	義肢会館	坂井,石原,高橋,大塚
	常任理事会	〃	坂井,石原,高橋,大塚
12月18日	第3回生涯学習委員会	義肢会館	坂井
12月19日	『義肢装具士になるには』取材	義肢会館	坂井
12月20日	医療・福祉・介護関連団体意見交換会	東京・市ヶ谷	坂井
12月22日	厚労科研「医療関係職種の養成課程内容共 通度」会議	東京大学	大塚
1月15日	第3回国際委員会	東京・秋葉原	坂井
	常任委員会	テレビ会議	坂井,石原,高橋,大塚
1月17日	日本リハ医学会・久保理事長との面談	東京・神田	坂井,大塚
	2019年 ISPO 世界大会組織委員会	義肢会館	坂井
1月18日	JRAT 災害マニュアル編集委員会	東京・四谷	坂井
1月19日	テクノエイド協会新年交流会	東京・市ヶ谷	坂井,大塚
1月21日	義肢協会関東、東京支部新年会	東京・目白	坂井
1月22日	下肢救済・足病 WG	東京・晴海	坂井,石原,高橋,大塚
	第2回理事会	〃	坂井,石原,高橋,大塚
1月23日	車椅子・シーティング三団体講習会打合せ(北 川理事)	東京・赤羽	高橋
1月27日	公益法人 WG(岡崎事務局長)	義肢会館	大塚
1月29日	「支援機器利活用拡大シンポジウム2017」	東京・大手町	坂井
	西日本支部 卒前新人セミナー	神戸医療福祉専門学校三田校	石原
2月1日	シーティング合同講習会に関する意見交換会	テクノエイド協会(東 京・飯田橋)	坂井,高橋

2月4日	中部日本支部 卒前新人セミナー	日本聴能言語福祉学院	坂井
	車椅子・シーティング三団体講習会(第2回:1日目)(北川理事)	東京・北とぴあ	高橋
2月5日	第3回研修委員会	義肢会館	石原
	車椅子・シーティング三団体講習会(第2回:2日目)(北川理事)	東京・北とぴあ	高橋
2月7日	内閣府公益認定等委員会ヒアリング(米満氏、岡崎事務局長)	東京・虎ノ門	大塚
2月12日	第4回編集委員会	義肢会館	石原
2月14日	事務局会議	義肢会館	大塚
2月25日	東日本支部東京地区 卒前新人セミナー	国立障害者リハビリテーションセンター	高橋
2月26日	東日本支部新潟地区 卒前新人セミナー	新潟医療福祉大学	坂井
	「地域包括ケアシステムにおけるチーム医療(チーム医療推進協議会)」	東京・池袋	高橋,大塚
2月28日	厚労科研「医療関係職種の養成課程内容共通度」会議	東京大学	大塚
3月3日	北海道支部 卒前新人セミナー	札幌・かでる 2.7	高橋
	JRAT 福祉用具供給に関する協議	JASPA(東京・神谷町)	坂井
3月4日	南日本支部 卒前新人セミナー	熊本総合医療リハビリテーション学院	坂井
3月12日	全国セミナー	東京・代々木	石原
	JSPO 生涯学習あり方委員会	東京・品川	坂井
	PO 関連三団体協議会	〃	坂井,大塚
3月22日	シーティング合同講習会に関する意見交換会(第2回)	テクノエイド協会(東京・飯田橋)	高橋
3月23日	チーム医療推進協議会総会	東京・田町	高橋,大塚
3月24日	公益法人 WG(岡崎事務局長)	義肢会館	大塚

③ 定期総会:

平成 28 年 7 月 16 日(土) 神戸国際会議場

④ 学術大会:

第 23 回日本義肢装具士協会学術大会

平成 28 年 7 月 16 日(土)・17 日(日) 神戸国際会議場
大会会長:小西克浩((株)澤村義肢製作所)

● 各種委員会における平成 28 年度の特記事項、ほか

⑤ 学術大会顧問会議

第 23 回大会の決算報告、第 24 回、25 回大会の進捗確認、学術大会取決め事項のアップデート

⑥ 編集委員会

JJAPO24 巻 1 号～4 号の発刊 (以下)、投稿論文の査読・掲載、メールによる査読システム実施、別冊の PDF 配布

【特集】

巻 号	発行日	特 集 内 容	担 当 (支部 担当者)
24 巻 1 号	平成 28 年 6 月	義肢装具士に必要な評価学 —基礎編—	北海道支部 松原
24 巻 2 号	平成 28 年 9 月	血行障害による下腿切断者の マネージメント	西日本支部 加賀山・佐野
24 巻 3 号	平成 28 年 12 月	福祉用具と義肢装具士の役割	東日本支部 須田
24 巻 4 号	平成 29 年 3 月	3D プリンターと CAD/CAM 技 術の義肢装具への応用	中部日本支部 宮本

【連載・シリーズ企画】

- ・義肢装具士に役立つ介助動作②
- ・開発物語
- ・書 評
- ・研修セミナー開催記、受講記

⑦ 研修委員会

H28 全国セミナーの企画運営(以下)、H28 研修委員会支部セミナーの企画運営(以下)、H28 研修委員会支部セミナー事業報告書・会計報告書の審議、H29 研修委員会支部セミナー企画協議と事業計画案審議、研修セミナー活動に関わるガイドラインと各種フォーム・規定の整備、H27 セミナーアンケート結果の分析

全国セミナー

テーマ:「 義肢装具士に必要な評価学～脳卒中基本編～
脳卒中片麻痺者に対する装具介入と設計のための評価 」
期 日:平成 29 年 3 月 12 日(日) 10:00～16:00
会 場:国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 102 号室
参加者:90 名(正会員 71 名・購読会員 1 名・学生会員 7 名・非会員 11 名)
幹 事:保谷 純一

北海道支部

テーマ:「 多職種を理解する 第 3 弾 地域包括ケアと義肢装具 ～迫りくる 2025 年問題～」
期 日:平成 29 年 2 月 26 日(日) 9:30～15:40
会 場:北海道科学大学 保健医療学部棟(C棟)301 号室
参加者:68 名(正会員 18 名・購読会員 1 名・学生会員 7 名・非会員 5 名・義肢協会 37 名)
幹 事:佐藤 健斗

東北支部

テーマ:「 足元に目を向けよう！～足底形状へのアプローチによる運動機能変化～」
期 日:平成 28 年 8 月 27 日(土) 10:00～17:30
会 場:仙台医健専門学校 第二校舎 4 階
参加者:91 名(正会員 64 名・購読会員 1 名・学生会員 2 名・非会員 2 名・義肢協会 21 名
・その他 1 名)
幹 事:小林 央

東日本支部

テーマ:「 坐骨収納型ソケット実技セミナー第 8 弾 ～さらなるソケット適合技術の習得を！～」
期 日:平成 28 年 10 月 8 日(土)・9 日(日)・10 日(月:祝) 9:00～17:00
会 場:人間総合科学大学 岩槻キャンパス
参加者:10 名(正会員限定)
幹 事:長田 貴史

中部日本支部

テーマ:「 訓練用大腿義足セミナー ～切断者の評価に基づくパーツ選択方法～」
期 日:平成 28 年 11 月 27 日(日) 10:30～16:00
会 場:日本聴能言語福祉学院
参加者:64 名(正会員 48 名・学生会員 6 名・非会員 10 名)
幹 事:千田 弦

西日本支部

テーマ:「 地域包括ケアシステムを支える地域リハビリテーションについて 」
期 日:平成 28 年 11 月 27 日(日) 12:00～17:00
会 場:神戸医療福祉専門学校三田校
参加者:57 名(正会員 42 名・購読会員 1 名・学生会員 9 名・義肢協会 4 名・その他 1 名)
幹 事:石田 晃一

南日本支部

テーマ:「先輩のテクニックを盗め 車椅子採寸適合編」

期 日:平成 29 年 2 月 11 日(土:祝) 10:00~16:00

会 場:熊本総合医療リハビリテーション学院 1号館 講堂

参加者:51 名(正会員 33 名・学生会員 12 名・非会員 6 名)

幹 事:笹川 友彦

⑧ 国際委員会

海外支援活動助成の審議、中古部品回収等の提供先の検討、HP 内英語ページに関して意見交換、香港義肢矯形師協会との交流発展。

⑨ 倫理・会則検討委員会

公益法人化に向け定款・役員選任規程・代議員選挙規程を委員会で検討後、理事会へ提出。卒前新人セミナーの講義「倫理」で使用している各支部の内容の意見交換。

⑩ 広報委員会

WEB サイトの充実化とリニューアルに向けた取り組み。

⑪ 協会向上委員会

「義肢装具士白書 2016」に関する第 2 回義肢装具士実態調査の回収・分析、執筆者からの原稿回収・調整・校正、白書の全体校正、白書の発刊準備

⑫ 生涯学習委員会

生涯学習基礎プログラムのコンテンツ内容(科目・大項目・中項目)の立案、平成 28 年度生涯学習セミナーの実施(神戸大会)と 29 年度(福岡大会)の企画、卒前新人セミナーの実施

生涯学習セミナー

講 師: 中村隆(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

義肢装具技術研究部)

テーマ: 論文投稿の進め方

開催日: 平成 28 年 7 月 16 日(第 23 回神戸大会)

会 場: 神戸国際会議場

受講者数: 23 名(会員 15 名、賛助会員 1 名、学生会員 5 名、非会員 2 名)

卒前新人セミナー

北海道支部

開催日: 平成 29 年 3 月 4 日(土)

会 場: かでの 27

受講者数: 23 名(北海道科学大学 11 名、北海道ハイテクノロジー専門学校 12 名)

東日本支部

① 東京地区

開催日: 平成 29 年 2 月 25 日(土)

会 場: 国立障害者リハビリテーションセンター

受講者数: 49 名(国立障害者リハビリテーションセンター学院 6 名、人間総合科学大学 24 名、西武学園医学技術専門学校 19 名)

②新潟地区

開催日 : 平成 29 年 2 月 26 日(日)

会 場 : 新潟医療福祉大学

受講者数 : 28 名

中部日本支部

開催日 : 平成 29 年 2 月 4 日(土)

会 場 : 専門学校 日本聴能言語福祉学院

受講者数 : 10 名

西日本支部

開催日 : 平成 29 年 1 月 29 日(日)

会 場 : ①神戸医療福祉専門学校三田校

②広島国際大学(中継)

受講者数 : ①56 名

②17 名

南日本支部

開催日 : 平成 29 年 3 月 4 日(土)

会 場 : 熊本総合医療リハビリテーション学院

受講者数 : 13 名

⑬ 総務委員会

財政状況の把握、H29 年度予算案作成、補正予算の規程作成および運用、予算作成基準の改訂、国際協力助成金支給スケジュールの検討(財政面より)

⑭ 下肢救済・足病分野 WG

下肢救済・足病分野専門義肢装具士認定制度の構築を目的として設置。H28 年度の会合は 2 回。本分野の生涯学習プログラムの検討、日本下肢救済・足病学会との連携について検討。

⑮ 車椅子シーティング分野 WG

車椅子シーティング分野専門義肢装具士認定制度の構築を目的とした関連団体との関係構築。関連団体の既存の研修プログラムおよび各団体の動向の把握。

● 各支部における平成 28 年度の特記事項、ほか

⑯ 北海道支部

北海道災害リハビリテーション推進協議会 Do-RAT 会議参加(6回)、Do-RAT セミナー協力(1 回)、支部会の開催、卒前新人教育セミナーの開催(3/3)、研修委員会・編集委員会の開催

⑰ 東北支部

平成 27 年度からの支部設立(2 年目)に伴う、

平成 27 年度(支部設立初年度)に東北 5 県のキーパーソン及び支部長、事務局長、編集副委員長の選定等を行った。平成 28 年度は、昨年選定した東北 5 県(青森・岩手・山形・宮城・福島)のキーパーソン及び東北支部研修委員、東北支部編集委員が一斉に集まり会議を実施した(2017 年 2 月 18 日)。また、昨年度の引き続き、事務局長、編集副委員長、研修副委員長等を中心に支部会議を開催した(3 回/年)。

⑱ 東日本支部

- ・平成 28 年度 支部会の開催（平成 28 年 6 月 19 日(日)）
- ・平成 28 年度 支部活動会議の開催（平成 29 年 2 月 12 日(日)）
- ・平成 28 年度支部活動「義肢装具体験イベント」の開催
西東京市立 保谷中学校(平成 28 年 9 月 10 日(土)：生徒数 約 600 名)
中野区立 中野第二中学校(平成 29 年 1 月 14 日(土)：生徒数 約 250 名)
- ・東日本支部 合同セミナーの開催「糖尿病足部病変と装具療法の基礎」
(一社)日本義肢協会 東京支部・関東支部との合同企画・開催（平成 28 年 11 月 19 日(土)）
- ・(一社)日本義肢協会 東京支部・関東支部との合同会議（平成 29 年 2 月 18 日(土)）
- ・卒前新人セミナーの開催
東京開催：国立障害者リハビリテーションセンター本館（平成 28 年 2 月 25 日(土)）
新潟開催：新潟医療福祉大学（平成 28 年 2 月 26 日(日)）
- ・研修委員会、編集委員会の開催

⑲ 中部日本支部

愛知 JRAT への参加、第 38 回愛知県障害者技能競技大会(7/10)への出場選手推薦並びに競技委員の派遣、支部セミナーの開催、卒前新人セミナーの開催(2/4)、研修委員会、編集委員会の開催、支部理事会の開催

⑳ 西日本支部

職業実践専門課程（神戸医療福祉専門学校三田校）の会議出席、支部会および各委員会開催、支部セミナーの開催、卒前新人セミナーの開催

㉑ 南日本支部

支部会開催、支部セミナー開催、卒前新人セミナー開催、研修委員会・編集委員会の開催、学術大会福岡大会のサポート、沖縄県理学療法士協会への講師派遣対応

2) 平成 28 年度 決算報告

決算書類を別添の資料集 1～19 頁に示す。

資料集 1、2 頁の収支計算書の決算額は、本部会計、学術大会および支部会計の総合計を示している。それぞれの内訳は 3、4 頁が本部、5 頁が支部、そして 6 頁が学術大会の収支予算書である。

収支計算書の当期収支差額(2 頁、18 段)は、3,474,284 円となり、予算額よりも 340 万円ほどプラスとなった。これは、当初予算では収支をバランスさせていたのに対して、本部会計の収支差額(4 頁、12 段)が 1,453,657 円、支部会計の収支差額(5 頁、36 段)が 920,627 円、学術大会の収支差額(6 頁、33 段)が 1,100,000 円となったためである。学術大会で増収となったのは、学術大会参加費収入(8 段)と商業展示等収入(9 段)となった。

本部の収支について以下に解説する。

< 事業活動収入 >

固定資産運用収入

- ・定期預金の利息 4,449 円を得た。

入会金収入

- ・19 名の新入会員から入会金収入 95,000 円を得た。

会費収入

- ・正会員 2,304 名分 27,648,000 円、学生会員 901 名分 2,703,000 円、購読会員 86 名分 1,032,000 円、賛助会員 34 団体 1,020,000 円となった。

事業収入

- ・会誌発行事業収入は、PO アカデミージャーナルの広告掲載費で 1,859,016 円となった。

参加費収入

- ・全国セミナーの参加費の合計で、758,000 円となった。当初予算では、計上していなかった。

したがって、当期の事業活動収入計(3 頁、19 段)が 35,225,154 円となった。

< 事業活動支出 >

事業費支出

- ・渉外費は、祝電などの慶弔費、各種加盟団体の会費および各種表彰の副賞である。
- ・会議費は、各委員会等の会議にかかる費用である。
- ・旅費交通費は、各委員会等の出張旅費および出張手当である。

差異が大きいのは、委員会の会議にかかる旅費が減少したことが原因で、その理由としては、同日に複数の会議を開催したことで重複したメンバーの旅費が削減できたことなどによる。

- ・通信運搬費は、「PO アカデミージャーナル」、セミナーの開催案内、実態調査アンケート等の発送費である。

- ・印刷製本費は、「PO アカデミージャーナル」、セミナーの開催案内、実態調査アンケート等の印刷製本費が主である。

差異が大きいのは、当該年度に予定していた「義肢装具士白書 2016」の印刷・製本が次年度に移動したことが主な原因である。

- ・諸謝金は、「PO アカデミージャーナル」の原稿料が主である。

- ・支部活動費は、全国 6 支部の活動資金で、支部ごとの事業計画によって必要経費を充当している。

- ・セミナー費は、支部セミナー助成(10 万円×6 支部)で支部への助成である。

差異が大きいのは、予算には全国セミナー助成と新人セミナー助成を計上していたが、これらを本部事業と位置づけたため、支部への助成として扱わなかったためである。

- ・学術大会助成費は、学術大会の準備資金である。

管理費支出

- ・給料手当は、事務局職員 3 名の給与及び交通費である。

- ・会議費は、理事会等の会場費である。

- ・旅費交通費は、理事会、常任理事会等の交通費及び出張手当が主である。

- ・通信運搬費は、総会案内や会費請求等の発送費、電話料金、インターネットにかかる費用である。

差異が大きいのは、予算作成時に組み入れていなかった総会資料の追加と選挙関連資料の印刷経費による。

- ・消耗品費は、主に事務用消耗品にかかる費用である。

差異が大きいのは、予算作成時に組み入れていなかった白書関連の印刷を事務局で実施したことによるコピー機トナー、封筒、書棚、源泉税計算ソフトの購入経費による。

- ・印刷製本費は、総会案内やお知らせ等に係る印刷費である。

- ・賃借料は、事務局の賃借料である。

- ・リース料は、コピー機等のリースにかかる費用である。

- ・委託費は、税理士への顧問報酬料およびコンビニ会費回収業者への委託費である。

差異が大きいのは、公益法人化が延期したため、予算計上していた公益法人コンサルティング料が発生しなかったことによる。

- ・会費未納退会損失は、会費未納者に平成 27 年度から再三にわたり督促したにも拘わらず、会費を滞納した会員を退会扱いとしたため、徴収できなかった会費である。

- ・租税公課支出は、消費税が主である。

したがって、当期の事業活動支出計(3 頁、48 段)33,701,497 円となった。

- ・法人税等の支払額は、予算通り、70,000 円であった。

事業活動収支差額(4 頁、1 段)は 1,453,657 円となった。

<投資活動収入>

基本財産取崩収入

- ・白書関連 300 万円、WEB サイトリニューアル 100 万円、公益法人コンサル料 54 万円に当てるため定期預金取崩収入を 454 万円見込んでいたが、収支がプラスになることが判明したため取崩を実施しなかった。

以上のことから当期収支差額(4 頁、12 段)は 1,453,657 円となった。これに前期繰越収支差額を加えた次期繰越収支差額が 1,532,227 円となった。

3) 平成 28 年度監査報告

監 査 報 告 書

私たちは、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの第 4 期事業年度の業務執行状況、貸借対照表および財産目録、正味財産増減計算書並びに関係諸帳票、証拠書類について監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

平成 29 年 5 月 27 日

一般社団法人日本義肢装具士協会

監事 松本芳樹 

監事 佐々木智也 

監事 小谷和男 

第2号議案： 平成29年度主な事業計画案および収支予算案の承認の件

1) 平成29年度 事業計画案

① 理事会

第1回理事会 平成29年6月11日(日) 佃区民館 (東京・中央区)

[理事] 石原、出井、植田、宇野、大塚、甲斐、北川、黒田、見木、小嶋、小西、坂井、
笹本、佐野、鈴木、砂田、高橋、中川、中村、楡木、早川、富金原、藤本、保谷、
本田、宮川、宮本、山口

[監事] 小谷、佐々木、松本

第2回理事会 平成29年7月23日(日) 福岡国際会議場 (福岡市)

第3回理事会 平成30年1月 都内 (予定)

④ 会長、副会長、常任理事の職務の進捗状況

月 日	職 務	場 所	応 対 者
4月9日	東京オリパラ対応意見交換	義肢会館	坂井、石原、高橋、大塚
	学術大会顧問会議		
4月16日	運動器の10年 会員連絡協議会	東京・竹橋	大塚
4月22日	JOPA 臨時総会	東京・有明	坂井
4月23日	第1回総務委員会	義肢会館	大塚
4月25日	公益法人WG(岡崎事務局長)	義肢会館	大塚
4月26日	内閣府公益認定等委員会ヒアリング(米満氏、 岡崎事務局長)	東京・虎ノ門	大塚
	田澤英二先生との打合せ(福岡大会関連)	田沢製作所	坂井
5月1日	シーティング合同講習会に関する意見交換会 (第3回)	テクノエイド協会(東 京・飯田橋)	高橋
5月5日 ～7日	ISPO 理事会	南ア・ケープタウン	坂井
5月8日 ～11日	ISPO 世界大会		
5月12日	決算打合せ(岡崎事務局長)	義肢会館	大塚
5月14日	第1回研修委員会	義肢会館	石原
5月15日	東京都オリパラ教育推進プログラム打合せ	義肢会館	坂井
5月20日	JOPA 設立50周年記念祝賀会	東京・後樂園	坂井
5月21日	第1回生涯学習委員会	義肢会館	坂井
	常任理事会	テレビ会議	坂井、石原、高橋、大塚
5月22日	JRAT 福祉用具供給に関する協議	JASPA 事務局	坂井
5月23日	事務局会議(岡崎事務局長)	義肢会館	大塚
5月26日	JRAT 戦略会議	東京・田町	坂井

5月27日	会計監査	義肢会館	坂井,石原,高橋,大塚
6月2日	日本診療放射線技師会設立70周年記念 祝賀会	東京・丸の内	坂井
	大野博美氏、須田委員との打合せ(生涯学習 関連)	義肢会館	坂井
6月5日	脇本氏との面談、林伸太郎氏との面談	義肢会館	坂井
6月7日	日本リハビリテーション医学会理事会	岡山	坂井
	ISPO 理事会 (WebEx)	テレビ会議	坂井
6月11日	第1回理事会	東京・月島	坂井,石原,高橋,大塚

③ 定期総会

平成29年7月22日(土) 福岡国際会議場 (福岡市)

④ 学術大会

第24回日本義肢装具士協会学術大会

平成29年7月22日(土)・23日(日) 福岡国際会議場

大会会長: 本田 智裕(熊本総合医療リハビリテーション学院)

● 各種委員会における平成29年度の活動目標、進捗ほか

⑤ 学術大会顧問会議

活動目標: 大会取決め事項のアップデート

進捗状況: 第24、25回大会の準備状況の把握

⑥ 編集委員会

活動目標: ジャーナルの定期発刊、投稿論文数のアップ、編集委員会マニュアルの見直し、投稿
規程の見直し(利益相反、倫理規定など)、J-Stageでの公開、Web会議の実施など

進捗状況: ジャーナル発刊の計画(以下)

【特集】

巻号	発行日	特集内容	担当(支部 担当者)
25巻1号	平成29年6月	在宅装具利用者と義肢装具 士	西日本支部 藤本
25巻2号	平成29年9月	臨床におけるエピテーゼの 意義	南日本支部 有菌・栗屋
25巻3号	平成29年12月	足底装具の考え方	北海道支部 松原
25巻4号	平成30年3月	アビリンピック	東北支部 植松

※全国セミナーとの連動特集も企画中

【連載・シリーズ企画】

・生涯学習セミナー

- ・サイバスロン
 - ・義肢パーツの紹介
 - ・自己評価と学びの履歴
 - ・機能的足底装具の予備知識(仮)
 - ・開発物語
 - ・障がい者スポーツ関連団体の紹介
 - ・計測機器
 - ・書評
 - ・POとして知っておきたい関係法規・制度
 - ・研修セミナー開催記・受講記
- その他数企画を検討中

⑦ 研修委員会

活動目標:H29 全国セミナーの企画・運営(以下)、H30 全国セミナー企画、H29 研修委員会支部セミナーの企画運営(以下)、H29 研修委員会支部セミナー事業報告書・会計報告書の審議、H30 研修委員会支部セミナーの企画協議と事業計画案審議、研修セミナーガイドラインと各種フォームの整備(事業計画案・報告書の改訂等)、研修活動に関わる規定の立案と決定(改訂)、H28 セミナーアンケートの集計と分析

進捗状況:全国研修委員会では引き続き、サイボウズを利用して情報共有を図っている。H29 全国セミナー企画について、講師との企画案協議(7月)や全国研修委員会で担当割して着手している。研修セミナーガイドラインを規範として進める事を、副委員長にあらためて周知している。新委員長と新副委員長の次期体制の準備と、引き継ぎをおこなっている。

研修セミナーの予定(以下):

全国セミナー

テーマ:「義肢装具士に必要な評価学 ～足底装具編～(仮題)」
 期日:平成30年3月(予定)
 会場:国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟(予定)
 定員:100名(予定)
 幹事:昆 恵介

北海道支部

テーマ:「多業種を理解する 第4弾 脳血管障害の予後予測と補装具での介入」
 期日:平成29年11月18日(土) 12:30～17:20
 会場:北海道科学大学 保健医療学部棟
 定員:54名
 幹事:佐藤 健斗

東北支部

テーマ:「在宅装具利用者の現状と問題点 ～今後の義肢装具士の関わりについて考える～」
 期日:平成29年8月26日(土) 12:30～17:00
 会場:仙台医健専門学校 第二校舎
 定員:80名
 幹事:長岡 儀英

東日本支部

テーマ:「 坐骨収納型ソケット実技セミナー 第9弾 ～即！実践できるライナー編～」
期 日:平成 29 年 8 月 11 日(金:祝)・12 日(土)・13 日(日) 9:00～17:00
会 場:人間総合科学大学 岩槻キャンパス
定 員:10 名(PO 限定)
幹 事:板橋 ちあき

中部日本支部

テーマ:「 スポーツ傷害と装具療法セミナー ～スポーツに対する義肢装具士としての取り組み～」
期 日:平成 29 年 11 月 26 日(日)
会 場:日本聴能言語福祉学院
定 員:75 名
幹 事:芥川 雅也

西日本支部

テーマ:「 実践的 3DCAD 入門 ～3D プリンタで出力出来るまで～」
期 日:平成 29 年 11 月 19 日(日)または、26 日(日) 13:00～17:00
会 場:広島国際大学 東広島キャンパス 3号館 7階 マルチメディア
定 員:70 名
幹 事:谷口 公友

南日本支部

テーマ:「 先輩のテクニックを盗め！ ～座位保持装置採寸採型編～」
期 日:平成 30 年 2 月 4 日(日) 10:00～16:00(予定)
会 場:熊本総合医療リハビリテーション学院 講堂
定 員:65 名
幹 事:笹川 友彦

⑧ 国際委員会

活動目標:国際支援活動助成制度申請に関する事項、義肢中古部品回収の継続、香港義肢矯形師協会との連携強化、海外情報の収集と提供、英語版ホームページのコンテンツ更新、学術大会の外国人招致に関わる支援

進捗状況:昨年度国際支援活動助成制度申請のあった活動完了までのフォローアップ、英語版ホームページについては、翻訳を進める。「香港義肢矯形師協会との連携強化」については、福岡大会に 4 名参加される予定なのでサポートする。福岡大会への支援では、外国人招致に関してサポートする。

⑨ 倫理・会則検討委員会

活動目標:公益法人化後の定款に則した細則・規則の整備、卒前セミナーでの講義「倫理について」の実施

進捗状況:公益法人化後の定款に則した細則・規則の整備に向け資料収集、各支部の卒前セミナーで使用した「倫理について」の講義資料の収集(いずれも内容は次回委員会にて検討予定)

⑩ 広報委員会

活動目標: WEB サイト のリニューアル完成、WEB サイトの運営方法の検討、SNS(Facebook など)による
広報活動の検討、リーフレットの検討

進捗状況: WEB サイトのリニューアル完成に向けた委託業者との打ち合わせ

⑪ 協会向上委員会

活動目標: ・「義肢装具士白書」の定期発刊に向けて、「義肢装具士白書 2016」の発刊作業に関する
振り返り及びまとめ。(統計資料取りまとめ及び分析方法、義肢装具士実態調査アンケート
に関して、執筆者の選定及び依頼、白書全体の編集・校正作業について)

・組織率向上に関する現状分析と課題についての検討

進捗状況: 白書発刊に関する振り返り作業進行中。

⑫ 生涯学習委員会

活動目標: 生涯学習・基礎プログラム実施に向けた事案の検討、専門プログラムと専門義肢装具
士(仮称)のコンテンツの検討、29・30年度生涯学習セミナーの企画と運営、第4・
5期の単位制についての管理と報告

進捗状況: 活動目標ごとの担当者の決定、29年度生涯学習セミナーの講師選定(「演題発表の進
め方」富永修一先生)、基礎プログラム案の各科目について大項目・中項目の内容選
定、30年度生涯学習セミナーの講師選定(「義肢装具士業務における自己評価(仮)」
吉田重和先生)

⑬ 総務委員会

活動目標: 各支部・各委員会の新規事業計画の情報収集、H30年度予算作成、謝金規程の整備、
事務局その他の事務業務の問題点の把握

進捗状況: 講師謝金・執筆料等に関する謝金規定の整備を開始した。他団体の規程を確認し、当協会
規程の大枠を作成した。H30年度予算案の作成スケジュールを確定した。

⑭ 下肢救済・足病分野 WG

活動目標: 生涯学習プログラムの構築、日本下肢救済・足病学会との連携。

進捗状況: 6/11の会議にて生涯学習プログラムを検討した。

⑮ 車椅子シーティング分野 WG

活動目標: 生涯学習プログラムの構築、関連団体との関係構築。

進捗状況: シーティング合同講習会に関する意見交換会に出席。

● 各支部における平成 29 年度の活動目標、進捗ほか

⑩ 北海道支部

活動目標：支部会(支部長・理事・事務局長・研修副委員長・編集副委員長)の開催、各委員会の開催、北海道災害リハビリテーション推進協議会(Do-RAT)への参加、北海道パラアスリート発掘プロジェクトへの協力、会員サービスや会員確保の広報活動

進捗状況：Do-RAT の会議(5/12)参加、北海道パラアスリート発掘プロジェクトとの打合せ

⑪ 東北支部

活動目標：支部会議(支部長・事務局長・研修副委員長・編集副委員長)の年 3 回の開催

支部会(東北 6 県のキーパーソン, 支部長・事務局長・研修副委員長・編集副委員長)の年 1 回の開催(2018 年 2 月開催予定)

今年度から新規の秋田県内のキーパーソンの選定と依頼

進捗状況：上記実施に向けて準備を進めている。尚、年度計画は既に確定しており、第一回支部会議は 2017 年 4 月 8 日に終了。2 回目は、2017 年 10 月 14 日を予定

⑫ 東日本支部

活動目標：支部活動「義肢装具体験イベント」の企画運営、(一社)日本義肢協会 東京支部・関東支部との合同企画の協議、東京都オリンピック・パラリンピック教育推進事業への協力。支部会・支部活動会議の開催。JRAT(神奈川県)へのコンタクト。

進捗状況：中野区立 南中野中学校(生徒数:約 300 名)より「義肢装具体験イベント」の開催依頼を受けた、企画内容について学校長と協議を行う予定。支部会の開催日程調整中。

⑬ 中部日本支部

活動目標：愛知 JRAT への参加、第 39 回愛知県障害者技能競技大会(7/9)への出場選手推薦並びに競技委員の派遣、支部セミナーの開催(一般社団法人日本義肢協会中部支部との共催)、支部研修委員会開催(3 回予定)支部編集委員会開催(3 回開催)、支部理事会(1 回開催)

進捗状況：上記の実施に向けて準備を進めている。既に第 1 回研修、編集委員会を 6/3(土)に開催。昨年度内に開催できなかった「平成 28 年度支部理事会」を 6/3(土)に開催している。

⑭ 西日本支部

活動目標：支部セミナーおよび卒前新人セミナーの開催、支部会および各委員会の開催、

職業実践専門課程(神戸医療福祉専門学校三田校)の会議出席予定、日本義肢協会近畿支部・中国四国支部との連携

進捗状況：支部セミナー開催に向けて準備

⑮ 南日本支部

活動目標：支部セミナーの開催、卒前新人セミナーの開催、支部研修委員会開催、支部編集委員会開催、JRAT(熊本)の参加、日本義肢協会九州沖縄支部との連携、学術大会福岡大会のサポート

進捗状況：上記支部セミナー等の開催に向けて準備を進めている。

2) 平成 29 年度 収支予算案

平成 29 年度予算書を別添の資料集 20～24 頁に示す。20,21 頁の収支予算書は学術大会、支部および本部の総合計を、また 22～24 頁の収支予算書内訳表はそれぞれの予算額を示している。以下、収支予算書の解説であるが、本部、支部、学術大会の個別の数値は収支予算書内訳表によるものである。

< 事業活動収入 >

固定資産運用収入

- ・定期預金の利息として 5,000 円を予定した。

入会金収入

- ・新入会員を 30 名、150,000 円を予定した。

会費収入

- ・正会員 2,270 名で 2,724 万円、学生会員 950 名で 285 万円、購読会員 70 名で 84 万円、賛助会員 34 団体で 102 万円を予定した。

事業収入

- ・会誌発行事業収入は、PO アカデミージャーナルの広告料で 1～4 号分と、特別号(大会講演集)の合計として 377 万円を予定した。

本部交付金収入

- ・支部活動費はとして 6 支部合計 153 万円を予定した。
- ・学術大会・セミナー費は、学術大会収入として本部より 110 万円の助成、支部収入は新人セミナーの費用として本部より該当支部合計 64 万円を予定した。

参加費収入

- ・参加費はセミナー参加費として 6 支部合計 316.5 万円を予定した。

大会事業収入

- ・学術大会参加費は大会の参加費等として 965 万円を予定した。
- ・商業展示等収入は大会の展示等収入として 1,253 万円を予定した。
- ・助成金・寄付金収入として 120 万円を予定した。

雑収入

- ・雑収入として普通預金の利息 500 円と、支部セミナーの広告収入等として 30 万円を予定した。

以上、事業活動収入計(20 頁、23 段)が 62,728,020 円となる。

<事業活動支出>

事業費

- ・臨時雇賃金は、学術大会の人件費で、298 万円を予定した。
- ・渉外費は、慶弔費、各種加盟団体の会費および各種表彰の副賞である。
- ・会議費は、委員会、支部会等の会議にかかる費用である。
- ・旅費交通費は、委員会、支部会等の交通費及び出張手当が主である。
- ・通信運搬費は、PO アカデミージャーナル、大会講演集、セミナーの開催案内等の発送費である。
- ・消耗品費は、大会にかかる事務用品、展示会場設営費、懇親会経費等である。
- ・印刷製本費は、PO アカデミージャーナル、大会講演集、セミナーの開催案内等の印刷製本費が主である。
- ・賃借料は、大会とセミナーの会場レンタル費用である。
- ・諸謝金は、PO アカデミージャーナルの原稿料と大会およびセミナーの講師の謝金が主である。
- ・委託費は、大会の運営の委託業者へ支払う経費が主である。
- ・支部活動費は、全国 6 支部の活動資金である。
- ・セミナー費は、研修セミナーの準備資金に充当するものである。
- ・国際協力助成費は、国際協力を実行している会員からの申請を、理事会の審査を経て支給する助成金である。

管理費

- ・給料手当は、事務職員の給料である。
- ・会議費は、理事会等の交通費及び出張手当が主である。
- ・旅費交通費は、本部では理事会等の交通費及び出張手当が主である。
- ・通信運搬費は、総会案内や会費請求等の発送費、電話料金、レンタルサーバにかかる費用である。
- ・消耗品費は、主に事務用消耗品にかかる費用である。
- ・印刷製本費は、会員通知文書等に係る印刷費である。
- ・賃借料は、本部事務所の賃借料である。
- ・リース料は、複合機等のリースにかかる費用である。
- ・委託費は、税理士顧問料、会費集金委託、PO アカデミージャーナルの J-Stage 公開作業の委託、公益法人コンサルティング料である。
- ・会費未納退会損失は、会費未納により会員資格喪失者徴収できない会費である。
- ・租税公課支出は、消費税が主である。

以上、事業活動支出計(21 頁、14 段)が 63,647,914 円となる。

法人税等の支払額は 70,000 円を見込んだ。

よって、事業活動収支(21 頁、17 段)は-989,894 円となる。

<投資活動収入>

定期預金取崩収入

- ・定期預金取崩収入は、公益法人コンサルティング料 54 万円、セミナー補てん 30 万円、PO アカデミー
ジャーナルの J-Stage 公開作業の委託費用 15.05 万円を予定し、合計 99.05 万円を計上した。

以上、投資活動収支差額(21 頁、27 段)が、990,500 円となる。

よって、当期収支差額(21 頁、28 段)が、606 円となる見込みである。

第3号議案： 任期満了に伴う役員改選(案)の承認の件

本議案は、下記、役員候補者の役員選任について審議を行う。

役員候補者は、役員選任規定に則り、「役員候補者選挙」にて決定した。経緯は以下の通り。いずれもWEBサイトにて報告済みである。

- ・昨年9月に選挙管理委員会が組織され、10月に「役員候補者選挙」が告示された。
- ・立候補者数が理事および監事ともに定数以内であったため、信任投票が12月に実施された。
- ・投票の結果、全員が過半数を獲得したため、役員候補者として信任された。

役員種別	役員候補者	所 属	支 部	現／新
理 事	石原 栄治	有限会社 大阪義肢	西日本	現
	大塚 博	人間総合科学大学	東日本	現
	狩野 綾子	株式会社 有菌製作所	南日本	新
	小嶋 聡	北海道ハイテクノロジー専門学校	北海道	現
	昆 恵介	北海道科学大学	北海道	新
	坂井 一浩	人間総合科学大学	東日本	現
	佐熊 重広	神戸医療福祉専門学校三田校	西日本	現
	関川 伸哉	東北福祉大学	東 北	現
	高橋 功次	有限会社 タカハシ補装具サービス	東日本	現
	中村 喜彦	国立障害者リハビリテーションセンター学院	東日本	現
	榆木 祥子	オズール アジア	東日本	現
	野坂 利也	北海道科学大学	北海道	新
	保谷 純一	(公財)鉄道弘済会 義肢装具サポートセンター	東日本	現
	本田 智裕	熊本総合医療リハビリテーション学院	南日本	現
	宮本 武志	専門学校 日本聴能言語福祉学院	中部日本	現
監 事	小谷 和男	株式会社 小谷義肢	西日本	現
	佐々木 智也	株式会社 佐々木製作所	西日本	現
	松本 芳樹	株式会社 松本義肢製作所	中部日本	現

第 4 号議案： 公益法人移行後の定款変更（案）の承認の件

平成 28 年度定期総会にて、公益法人移行後の定款が承認された。その後、内閣府・公益認定等委員会におけるヒアリングを重ねた結果、さらなる定款変更の必要性を指摘された。

本議案は、内閣府・公益等認定委員会にて指摘された箇所を変更し、平成 29 年 6 月 11 日の理事会で承認された定款の変更(案)について審議を行う。

別添の資料集 25～30 頁に定款変更（案）を示す。

<主な変更>

第 4 条 事業は、包括的な表現とし、項目を 5 項程度にまとめる

第 6 条 会の構成員から名誉会員を削除し、第 2 項に記述する。

第 15 条 第 5 項 代議員の任期を選挙終了から次期選挙終了までとする。

第 33 条 役員報酬の支給を認めることとする。

その他 「総会」を「社員総会」、「定期総会」を「定時総会」に変更する。

第 5 号議案： 現行の定款変更（案）の承認の件

内閣府・公益認定等委員会より、公益法人移行後の定款変更に伴い、現行定款の修正について指導を受けた。

本議案は、内閣府・公益等認定委員会にて指摘された箇所を変更し、平成 29 年 6 月 11 日の理事会で承認された現行定款の変更について審議する。

別添の資料集 31～36 頁に定款変更(案)を示す。

第 6 号議案： 役員報酬等及び費用に関する規程（案）の承認の件

現行の定款では、“(役員)理事及び監事は、無報酬とする”と規定されているが、本会が会議出席時に旅費交通費とは別に、必要経費として支払っている日当が報酬にあたるとの指摘を、内閣府・公益等認定委員会から受けた。そこで、理事会で協議した結果、従来の日当を役員報酬として支払うこととなった。

本議案は、平成 29 年 6 月 11 日の理事会で承認された「役員報酬等及び費用に関する規程(案)」について審議する。

別添の資料集 37 頁に役員報酬等及び費用に関する規程(案)を示す。

第7号議案： 会費規程(案)の承認の件

「会費規定」は、公益法人認定申請時に必要な規程である。

本議案は、平成29年6月11日の理事会で承認された「会費規程(案)」について審議する。
別添の資料集38頁に会費規程(案)を示す。